

平成31年2月22日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

○特記事項あり

石油給湯機に関する事故（リコール対象製品）について

（詳細は次頁以降参照。）

- |   |    |
|---|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故<br>（うち石油給湯機1件）   | 1件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因が疑われる事故<br>（うちはしご（伸縮式、アルミニウム合金製）2件）   | 2件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、<br>製品起因か否かが特定できていない事故<br>（うち乳幼児用椅子（ゆりかご兼用）1件、コンセント1件、<br>凍結防止用ヒーター（水道用）1件、自転車1件、<br>充電器（ニッカド・ニッケル水素電池用）1件） | 5件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※）<br>において、審議を予定している案件<br>該当案件なし  |    |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会  
製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

（管理番号：A201800120、A201800133を除く。）

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

## 6. 特記事項

株式会社ノーリツが製造した石油給湯機について（管理番号：A201800724）

### ① 事故事象について

株式会社ノーリツ（法人番号：6140001010383）が製造した石油給湯機を使用中、当該製品を焼損する火災が発生しました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

### ② 当該製品のリコール（無償改修）について

同社は、当該製品を含む対象製品（下記③）について、電磁ポンプの制御弁に使用されているリング（パッキン）が劣化して硬化、収縮し、器具内に油漏れが発生したことにより、漏れた灯油に引火し、火災に至る可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2002年（平成14年）10月24日以降、複数回にわたって新聞社告を行い、対象製品について無償改修（安定した材質のリングに交換）を実施しています。

さらに、全石連（全国石油商業組合連合会及び全国石油共済協同組合連合会）を通じて、47都道府県の石油商業組合又は石油組合に加盟している石油販売事業者に協力を依頼し、灯油の納入先にリコール対象製品がないか確認を行うなど、対象製品の改修促進を図っています。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号：A201800724）が上記のリコール事象によるものかどうかは現時点では不明です。

### ③ 対象製品：会社名、ブランド、製品名、製造期間、対象台数

会社名	ブランド	製品名	製造期間	対象台数
(株)ノーリツ	NORITZ	OTQ-302*	1997年3月 ～ 2001年3月	180,900
		OTQ-303*		
		OTQ-305*		
		OTQ-403*		
		OTQ-405*		
		OQB-302*		
		OQB-305*		
		OQB-403*		
		OQB-405*		
		高木産業(株) (現 パーパス(株))		
日立化成工業(株) (現 (株)ハウステック)	—	HO-350*		
		HO-360*		
		HO-450*		
		KZO-460*		

(注) 製品名の末尾の\*には英数字が続きますが、全て該当品です。

2002年（平成14年）10月24日からリコール（無償改修）を実施  
改修率：98.6%（2019年1月31日時点）

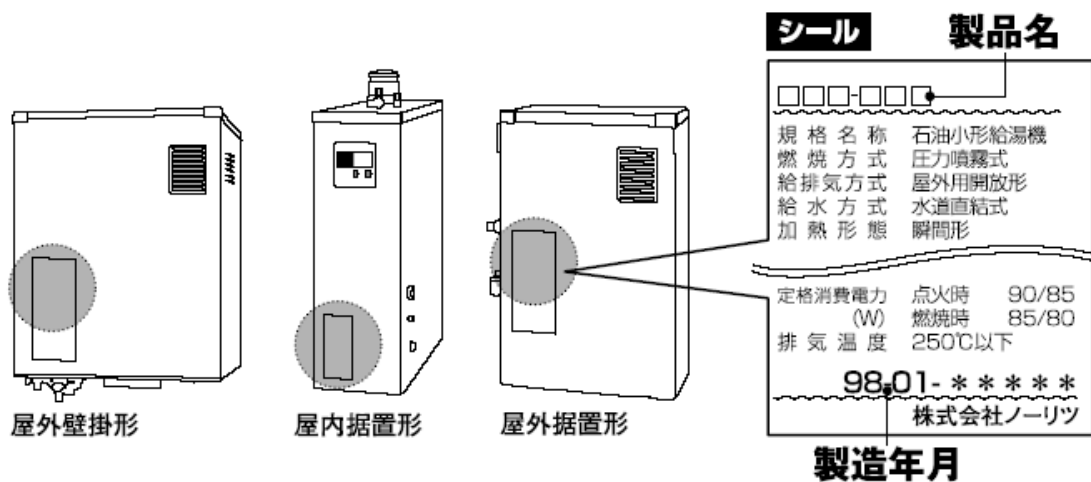
### <リコール対象製品での事故件数>

当該事故（管理番号：A201800724）発生以前の、対象製品におけるリコール対象の内容による2010年度以降の事故の件数は、次のとおりです。これらは、消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告を受けたものです。

年度	事故件数	被害状況	年度	事故件数	被害状況
2018年度	0	—	2013年度	7	火災
2017年度	1	火災	2012年度	10	火災
2016年度	1	火災	2011年度	7	火災
2015年度	2	火災	2010年度	12	火災
2014年度	4	火災			

#### <対象製品の確認方法>

製品名、製造年月は器具本体前面にシールで表示されています。  
排気及び設置方式により、図のような形状があります。



#### ④使用者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

なお、改修対象製品には、株式会社ノーリツの「NORITZ」ブランドのほか、高木産業株式会社（現 パーパス株式会社）の「パーパス」ブランド、日立化成工業株式会社（現 株式会社ハウステック）の製品もあります。

#### 【問合せ先】

株式会社ノーリツ

電話番号：0120-018-170

受付時間：9時～18時（平日）

ウェブサイト：<https://www.noritz.co.jp/info/05-1.html>

パーパス株式会社

電話番号：0120-575-399

受付時間：9時～18時（土・日・祝日、年末年始を除く。）

ウェブサイト：<http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html>

株式会社ハウステック

電話番号：0120-551-654

受付時間：9時～17時30分（平日）

ウェブサイト：<http://www.housetec.co.jp/2002/10/ho-350.html>

⑤一般社団法人日本ガス石油機器工業会による取組

一般社団法人日本ガス石油機器工業会では、石油給湯機等について、上記のリコール開始後も未改修品での事故が発生しているため、同じ構造の電磁ポンプを有する石油給湯機を製造した株式会社ノーリツ、東陶ユプロ株式会社（現 TOTO株式会社）、長州産業株式会社及びOEMを含む6社と共同で、2008年（平成20年）11月から12月にかけて、順次、新聞社告を新聞各紙に掲載し、未改修の該当機種をお持ちの消費者に対して速やかに連絡を頂くよう呼び掛けを行っています。

また、同工業会のウェブサイトにおいて、東京ツチヤ販売株式会社（解散）及び株式会社ワカサの2社を加えた8社について注意喚起をしています。

対象製品をお持ちで、まだ製造事業者等の行う無償改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

対象製品：ブランド名、会社名、機種・型式、製造期間、問合せ先

ブランド名<会社名>	機種・型式、製造期間	問合せ先
NORITZ <株ノーリツ>	OTQ-302 * OTQ-303 * OTQ-305 * OTQ-403 * OTQ-405 * OQB-302 * OQB-305 * OQB-403 * OQB-405 * 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト <a href="https://www.noritz.co.jp/info/05-1.html">https://www.noritz.co.jp/info/05-1.html</a> 電話番号：0120-018-170
ハウステック <日立化成工業株 (現 株ハウステック)>	H0-350 * H0-360 * H0-450 * KZ0-460 * <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	ウェブサイト <a href="http://www.housetec.co.jp/2002/10/h0-350.html">http://www.housetec.co.jp/2002/10/h0-350.html</a> 電話番号：0120-551-654
TOTO <東陶ユプロ株 (現 TOTO株)>	RPE32K * RPE40K * RPE41K * RPH32K * RPH40K * RPH41K * 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト <a href="https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm">https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm</a> 電話番号：0120-444-309
パーパス <高木産業株式会社 (現 パーパス株)>	TP-BS320 * D (ただし、TP-BS320は除く。) TP-BS402 * D TP-BSQ402 * <TOTO株製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト <a href="http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html">http://www.purpose.co.jp/home/announce/product/wh200210.html</a> 電話番号：0120-575-399
	AX-400ZRD <株ノーリツ製> 製造期間：1997年3月～ 2001年3月	
NEPON <ネポン株>	URA320 URA320S URB320 URB320S UR320 UR320S UR404S <TOTO株製> 製造期間：1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト <a href="https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm">https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm</a> 電話番号：0120-444-309 TOTO株で受付

ブランド名<会社名>	機種・型式、製造期間	問合せ先
日本ボイラーメンテナンス <株式会社日本ボイラーメンテナンス社>	UFN-333A (湯FO) <TOTO(株)製> 製造期間:1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト <a href="https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm">https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm</a> 電話番号:0120-444-309 TOTO(株)で受付
C I C <長州産業(株)>	PDX-403D DX-403D PDF-403D DF-403D DX-403DF 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	ウェブサイト <a href="http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html">http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html</a> 電話番号:0120-652-963
	PDF-321V PDF-401A PDF-411D-A DX-411D PDX-321V PDX-411D <TOTO(株)製> 製造期間:1995年8月～ 1999年6月	ウェブサイト <a href="https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm">https://jp.toto.com/News/info/2002yupro/index.htm</a> 電話番号:0120-444-309
ツチヤ <東京ツチヤ販売(株) (解散)>	AX-402A EX-403A FK-405A FC-406A <長州産業(株)製> 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	ウェブサイト <a href="http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html">http://www.choshu.co.jp/2009/0506200057.html</a> 電話番号:0120-652-963 長州産業(株)で受付
ワカサ <株式会社ワカサ>	WBF-400C <長州産業(株)製> 製造期間:1996年5月～ 1999年10月	

(注) 機種・型式名の末尾の\*には英数字が続きますが、全て対象製品です。

(一般社団法人日本ガス石油機器工業会)

ウェブサイト: [http://www.jgka.or.jp/information/2008/pdf/2008\\_11\\_21\\_sekiyuku\\_uutouki\\_mushoutenken.pdf](http://www.jgka.or.jp/information/2008/pdf/2008_11_21_sekiyuku_uutouki_mushoutenken.pdf)

**【本発表資料の問合せ先】**

消費者庁消費者安全課 (製品事故情報担当)

担 当: 鈴木、柳川、牧野

電 話: 03-3507-9204 (直通)

F A X: 03-3507-9290

経済産業省産業保安グループ製品安全課製品事故対策室

担 当: 橋爪、植杉

電 話: 03-3501-1707 (直通)

F A X: 03-3501-2805

■消費生活用製品の重大製品事故一覧

別紙

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む。)

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800724	平成31年2月9日	平成31年2月18日	石油給湯機	OQB-403YS	株式会社ノーリツ	火災	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。現在、原因を調査中。	神奈川県	製造から15年以上経過した製品 平成14年10月24日からリコールを実施 (特記事項を参照) 改修率: 98.6%

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800120	平成30年5月11日	平成30年6月6日	はしご(伸縮式、アルミニウム合金製)	LS-59	長谷川工業株式会社	重傷 1名	工事現場で当該製品を使用中、転落し、負傷した。 調査の結果、当該製品の支柱をロックする機構が十分な強度を有していなかったため、当該機構を構成するロックピンが事故発生以前の使用で変形し、さらにロックピンが変形した状態で使用した際に支柱のロックが外れやすい不完全な状態になってしまう構造であったことから、使用時の振動等でロックが外れて一気に支柱が縮み、バランスを崩して転落したものと推定される。	埼玉県	平成30年6月8日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 平成30年7月30日から自主回収を実施
A201800133	平成30年4月28日	平成30年6月11日	はしご(伸縮式、アルミニウム合金製)	LS-59	長谷川工業株式会社	重傷 1名	工事現場で当該製品を使用中、転落し、左足を負傷した。 調査の結果、当該製品の支柱をロックする機構が十分な強度を有していなかったため、当該機構を構成するロックピンが事故発生以前の使用で変形し、さらにロックピンが変形した状態で使用した際に支柱のロックが外れやすい不完全な状態になってしまう構造であったことから、使用時の振動等でロックが外れて一気に支柱が縮み、バランスを崩して転落したものと推定される。	奈良県	平成30年6月15日にガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故として公表していたもの 平成30年7月30日から自主回収を実施

### 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

管理番号	事故発生日	報告受理日	製品名	被害状況	事故内容	事故発生都道府県	備考
A201800725	平成31年1月30日	平成31年2月18日	乳幼児用椅子(ゆりかご兼用)	死亡1名	幼児(1歳)が当該製品の腰ベルトに挟まれた状態で発見され、病院に搬送後、死亡が確認された。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	神奈川県	平成31年2月21日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201800726	平成30年12月12日	平成31年2月18日	コンセント	火災	寮で当該製品に延長コードを接続して電気製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	静岡県	平成31年1月8日に公表した延長コードに関する事故(A201800594)と同一事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年2月6日
A201800727	平成31年1月25日	平成31年2月19日	凍結防止用ヒーター(水道用)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	長野県	平成31年2月21日に消費者安全法の重大事故等として公表済
A201800728	平成30年11月22日	平成31年2月20日	自転車	重傷1名	当該製品で走行中、前輪がロックし、転倒、負傷した。事故発生時の状況を含め、現在、原因を調査中。	鹿児島県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年2月8日
A201800729	平成31年1月13日	平成31年2月20日	充電器(ニッカド・ニッケル水素電池用)	火災	当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に起因するのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。	埼玉県	事業者が重大製品事故として認識したのは平成31年2月14日

### 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件 該当案件なし

はしご（伸縮式、アルミニウム合金製）（管理番号:A201800120、A201800133）

